

2024年3月29日
株式会社ADワークスグループ
(東証プライム：2982)

鳥取銀行と「サステナビリティ・リンク・ローン」契約を締結

～温室効果ガス排出量削減に応じて、借入金利優遇～

株式会社ADワークスグループ(本社：東京都千代田区、代表取締役社長 CEO：田中秀夫)は、株式会社鳥取銀行(本店：鳥取県鳥取市、取締役頭取：入江到)と「とりぎんサステナビリティ・リンク・ローン」の契約を締結し、3億円の資金調達を実行いたしました。

当社グループは、事業活動による環境負荷を把握・低減すべく、温室効果ガス排出量(Scope 1 & 2)を算定し、2050年カーボンニュートラル及び2030年30%削減(2022年度比)を目標として設定し取り組んでおります。こうした取組みがサステナビリティ・リンク・ローンの趣旨に整合していることから、本資金調達が実現いたしました。

今後も、資金調達の多様化に向けた金融機関とのリレーションを強化していくと同時に、サステナビリティ経営の推進にも取り組んでまいります。

1. サステナビリティ・リンク・ローン及び資金調達の概要：

サステナビリティ・リンク・ローンとは、企業の戦略に即したESG経営に関する目標をSPTs(サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット)として設定し、SPTsの達成状況に応じて金利を優遇するという特徴をもつ融資手法です。

本資金調達においては、「当社グループの温室効果ガス排出量削減」がSPTsに設定されております。なお、鳥取銀行ではSPTsの確認に際して、株式会社格付投資情報センター(R&I)より、国際的なサステナビリティ・リンク・ローン原則及び環境省のガイドラインに整合している旨の第三者意見を取得しています。

<資金調達の概要>

案件名称	：とりぎんサステナビリティ・リンク・ローン
借入人	：株式会社ADワークスグループ
貸出人	：株式会社鳥取銀行
融資金額	：3億円
契約締結日	：2024年3月29日
融資期間	：3年
資金用途	：運転資金
SPTs	：当社グループの温室効果ガス排出量削減

2. 当社グループの温室効果ガス排出量削減目標：

2023年12月15日付プレスリリース「TCFD 提言に基づく情報開示に関するお知らせ」及び2024年3月27日付「有価証券報告書－第4期(2023/1/1－2023/12/31)」にて公表の通り、当社グループでは自社事業活動による環境負荷を把握するため、当社及び国内連結子会社を対象とし、温室効果ガス排出量（下記ご参考）の算定に取り組んでおります。

今後は、2050年カーボンニュートラル及び2030年30%削減（2022年度比）を目標とし、再エネ電力メニューの活用や省エネ施策を講じるとともに、算定範囲の拡大及びそれに伴う目標の再検討を予定しております。

ご参考：

当社グループ温室効果ガス（GHG）排出量

温室効果ガス（GHG）種別		2022年12月期		2023年12月期	
		GHG排出量 [t-CO2]	割合	GHG排出量 [t-CO2]	割合
Scope 1	ガソリン	71.7	48%	64.8	44%
	軽油	17.6	12%	18.6	13%
	都市ガス	0.007	0%	0.01	0%
Scope 2	電力	10.9	7%	11.4	8%
	産業用蒸気	18.7	12%	15.7	11%
	冷水・温水	30.7	21%	35.5	24%
Scope 1, 2 合計		149.6	100%	147.0	100%

※Scope 1・2についてはGHGプロトコルが提供する定義を利用しています。

※「産業用蒸気（2023年12月期）」及び「冷水・温水（2023年12月期）」は本リリース作成時点における暫定値です。

本件に関するお問い合わせ：

株式会社 AD ワークスグループ

広報・IR 部

E-mail：pr@re-adworks.com